

主な新聞記事

(平成22年春)

春の叙勲 都内408人



旭日小綬章
 劇画家
 さいとう たかを さん 73
 (八王子市)

春の叙勲の受賞者が発表され、都内在住者からは408人が選ばれた。このうち旭日小綬章を受けた劇画家のさいとう たかをさん(73)、映画撮影監督の木村大作さん(70)、旭日双光章を受けた能楽師の坂井音重さん(70)に喜びの声を聞いた。

喜びの声

旭日小綬章
 映画撮影監督
木村大作さん 70
 (沼江市)

「俺自身想像しなかった人生だ」と、この数年を振り返る。

数々の名作を手がけてきた名カメラマンが「俺にしか撮れない」と、77歳で初めてメガホンをとった「劍岳」点の記。

手塚治虫らのストーリー漫画の世界におかれ、理髪店で働きながらペンをとったのは19歳。当時は「のちろく」などの少年漫画が主流だったが、「大人に読んでもらえる作品を描きたい」と雑誌編集者に売り込んで歩いた。1967年に「無用ノ介」を発表。写実的な筆致で「劇画」というジャンルを不動のものにした。

脚本・作画を分業化するプロダクション制を早くから導入。国際政治の舞台裏でスパイが活躍する「ゴルゴ13」は連載開始から42年間、熟練スタッフが支えてきた。「二番煎じをつ

いつか子ども向け描きたい

ているのはその時代の常識や観念にとらわれないこと。それが今も多くの読者に読み続けてもらえる理由ではないかと語る。デビュー以来、体裁は一度も変えない。「頑丈な体に華んでくれた親に感謝したい」と笑うが、その陰では、病院で点滴をぶら下げながら執筆したことも、締め切りを守るのはプロの最低条件」と強い自覚を抱く。

今も3本の連載を抱え、多忙な毎日が続く。「ずっと大人向けの作品を描いてきた。最後に『ドラえもん』のような、夢と希望にあふれる幼年モノを描いてみたいね」と意外な夢を披露してみせた。



「劍岳」俺にしか撮れない

延べ200日以上、劍岳と立山連峰にこもって撮影。通常では考えられない時間と労力をかけた作品は3月、日本アカデミー賞で監督、撮影など6部門の最優秀賞に輝いた。

「『劍岳』が今回の受賞のきっかけだと思う。スタッフや俳優を含めた仲間代表としてもらったものでうれし」と喜ぶ。



旭日双光章
 能楽師
坂井音重さん 70
 (渋谷区)

能一筋努力認められた

観世流を代表する主人公役「シチ方」の大家。「能一筋に歩んできた努力が認められ、支援者の方々の期待に応えられたことは素直にうれしかった」と喜ぶ。

観世流の伝統芸能の組織との競演などを通じ、芸能の維持、普及にも励み

1958年に東宝撮影部にカメラ助手として入社。73年に撮影監督となり、「極道の妻たち」(鉄道員)、「ぼくは」など大作の撮影を手がけた。中でも「八甲田山」(77年)が原典。撮影に雪山を3時間も歩くなど、「その心意気は劍岳」も俳優、スタッフに共有されていた。

期待される次回作は、「いくつ評価されても、映画現場の人間はもうからないもの。今後の生活のため仕方なく中だてといた。うっすく笑った。

32歳でフランスで初公演を行ってから、各国で多数の公演を行ってきた。2004年のロシア公演で演じた我々子を失う母の悲しみを描く「隅田川」を巡り、現地の人たちが「無常」の概念を理解し、感動していた姿が忘れられない。「外国人にも能の素晴らしさがわかってもらえた。優れた芸能、文化に根柢はない」。

「60歳を過ぎても、能には新たな発見がある。さらに自分の芸を磨きながら、皆さんが能に親しめるよう努めたい」と口元を引き締めた。

春の叙勲

内外4083人が受章

内藤国雄さん、ベンチャーズも

政府は29日付で、2010年度の叙勲受章者4083人と外国人叙勲の受章者2人を発表した。民間受章者は1641人(41%)で昨年並みだったが、女性は357人(9%)で昨秋より39人増えた。

旭日章は社会の様々な分野で功績を上げた人、瑞宝章は国や地方の公共的職務に長年従事した人が対象。今回は、より優れた功績があった人に贈られる桐花大綬章を元東京教員会長の島田仁郎さん(71)、元衆議院議員の横田良輔さん(83)が受章。旭日大綬章は元コマツ社長の片岡哲也さん(78)や元日本経済新聞社長の鶴田卓彦さん(82)ら9人が選ばれ、瑞宝大

綬章は元会計検査院長の杉浦万さん(70)、元衆議院事務総長の倉根知さん(71)に贈られる。

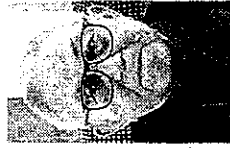
国連婦人の地位委員会日本代表を務めた酒井真喜子さん(76)は旭日中綬章に選ばれた。また、脚本家の倉本聰(1)本名山谷隆さん(70)、劇作家のさいとう・たかを(1)本多吾郎隆夫さん(76)、児童文学作家の佐藤さとし(1)本多佐藤隆さん(82)らが旭日小綬章を、将棋棋士の内藤國雄さん(70)が旭日光章を受章した。

外国人では、米ロックバンド「ベンチャーズ」のドン・ウィルソンさん(71)らメンバーが、旭日小綬章に選ばれた。

テレビ・舞台、人の心を洗い続けたい

倉本聰さん 75

旭日小綬章



「光栄なこと。受章を素直に喜ぶたい」と言いつつ、「テレビに舞台、脚本、仕事が多岐にわたっているの、何をもちて受章いただけるのか。戸惑っている」と笑う。

北海道釧路市に移り住んで33年。自然の中で暮らすことに「モノがないうらみ」とまで意識の基準を定める習慣がついた。カネがなくて不便なことが思考方法を変えてくれ、ものを書くという原点を見つけたと思うようになった。

もろに塾生に言い聞かせ、今春に閉塾するまでに300人以上の塾生を育てた。

テレビが得意だからと、苦言も尋ねる。「クリエイティブな作業からテレビが離れていくような気がする。ドラマは人を感動させるものだと思うが、その根拠をテレビが失っているのではないか」

これから、仕事のペースは変えない。「藝も関心したが、残っている周囲の役者やライターたちには、おもしろいながらモノをつくらせたい。書きたいという情熱は、書きたい、感動させたいという思いからきている。感動させるというものは人の心を洗うことだ」

6月から「師匠」の公債が始まる。(松島昌士)

さいとう・たかをさん 73 旭日小綬章



殺し屋「ゴルゴ13」の劇画で知られる。40年を越す連載を共に歩んだゴルゴ13こと、主人公のテイク・ザ・コングに対しては、「お前にくれたんじゃないぞ、言いたくない」と笑う。

漫画を描き始めた15歳の頃、青年が読むのはコマや4コマ漫画が主流だった。ストーリー性のある漫画は子ども向け。漫画編纂者から、その考えを曲げなかつた。「青年一般向けに読まれたからなんです」

自らを考えた信念は、「いつか『劇画』という言葉が辞書に載る時がくる」と。病気を

入院した時も、病室でくまなく読み、描いた。いまも仕事量は月200枚。一度たりとも休んでない。それでも「『ドラえもん』の子どもが描きたい」と意欲は尽きない。

描いてきたのは「常識からの離脱」という。子どもの頃から、「11112」に納得できなかった。最終に書かれた「1」は同じ長さではないのに、なぜなのかと悩んだ。そんな、常識を疑う姿勢が劇画として、大人を魅了してきた。

ゴルゴ13とは「映画監督と向かい合う」という関係。設定は自分より1歳上。事務所にある等身大の人形に手をかけ「長いつきあひになったな」と語りかけた。(倉本祐典)

平成22年4月29日(木) 朝日新聞(朝刊27面)

「ゴルゴ13」お前にくれたんじゃない

春の叙勲に4021人

ベンチャーズの5人も

政府は29日付で春の叙勲受章者を発表した。今回最高位の桐花大綬章には島田仁郎元最高裁長官(71)、綿貫

民輔元衆院議長(88)の2人が選ばれた。人気ドラマ「北の国から」の脚本家、倉本聰(本名・山谷肇)さん(75)、

「ゴルゴ13」で有名な劇画家、さいとう・たかを(本名・斉藤隆夫)さん(73)らには旭日小綬章、将棋棋士の内藤

国雄さん(70)らには旭日双光章が贈られた。(11面と関係地域面に受章者一覧)

受章者は桐花大綬章のほか旭日章876人、瑞宝章3143人で計4021人。女性

は357人で全体の8・9%、民間人は1641人で40・8%だった。

旭日大綬章は、愛知和男元防衛庁長官(72)、遠藤武彦元農相(71)ら9人が選ばれた。

「人目につきにくい分野」では30年以上知的障害者更生施設の指導員を務めた蒲恭子さん(62) 鳥取市、46年

間消防団員業務に従事した林義則さん(72) 岐阜市 瑞宝双光章が贈呈された。

別枠の外国人叙勲は35カ国・地域、62人(うち女性16人)。知日派の人物として知られたデニス・ハスタート元米下院議長(68)らに旭日大綬章、ロック

バンド「ザ・ベンチャーズ」のドン・ウィルソンさん(77)らメンバー15人に旭日小綬章が贈られた。

大綬章は天皇陛下、重光章は鳩山由紀夫首相が5月7日に皇居で授与する。



旭日小綾章

脚本家

倉本 聰氏(75)

「受賞は光栄。今後も今までと同じペースで富良野に残った役者たちと研磨しながら書き続けたい」。今春、26年率いてきた演劇を教える私塾「富良野塾」を閉じた。しかし創作意欲は健在だ。今も「子供時代のほめられたい」願望が残っている。声は富良野塾に結実。37

創作意欲の山頂見えず

「富良野塾」を閉じた。しから名作「北の国から」が生まれた。熱烈なファンに入り、ビールを飲みながら

鶴田氏は「このたびの叙勲は報道機関としての社会的貢献が評価されたものであり、心から喜んでおります。感激です」と話している。

春の叙勲

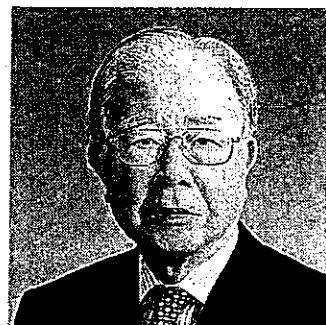
春の叙勲の受賞者が29日付で決まった。受賞者に喜びの声を聞いた。(2面参照)

と笑う。東京大学在学中から演劇にかかわり、テレビドラマの脚本家に。1977年、切さを学んだという。東京北海道・富良野に移住。富

5人の演劇人を育てた。地元の人たちと深く付き合う、「目線を下げる」大

くれるだろうか、がものを書く原点になった。最近

新間界発展への尽力に加え、建築審議会会長や金融制度調査会委員を長年務めた功績も評価された。



旭日大綾章

小松製作所元社長

片田 哲也氏(78)

12年が過ぎ、日本屈指の国に振り返る。全社一丸とな

銀行大手への公的資金注

「あの時代に活躍できたのが評価されたのでしょ

の電子化を推進した。

国際交流会議「アジアの未来」や美術展の開催などを通じ、海外との経済文化交流に貢献した。

産業界きつての論客

思いをはせているうちに経営者としての

入を主導した金融再生委員

と、すぐにシンクタンクから秘書を抜く。勉強に次

知識を身につけた。論客として活躍したのは、90年代

後半から2000年代前半にかけての日本経済激動

を受章した。鶴田氏は1993年から2003年

社長に昇格したのはパブル経済絶頂期の1989年。とを、「性能も含めて比較

連副会長としてストックオ

導

田卓彦日本経済新聞社元社長(82)が旭日大綾章

今回の春の叙勲で、鶴田大綾章を受章

春の叙勲4021人

政府は29日付で、春の叙勲受章者4021人を発表した。今回の最高位の桐花大綬章は綿貫民輔元衆議議長(88)と島田仁郎元最高裁判所長官(71)が受章した。旭日大綬章には片岡哲也元小松製作所社長(78)ら9人を選んだ。瑞宝章は杉浦力元会計検査院長(70)と谷福丸元衆議事務総長(71)の2人が受章した。(受章者一覧を叙勲面関連記事を社会面)

内訳は桐花大綬章が2人、旭日章が876人、瑞宝章が3143人。民間人の受章者は全体の40・8%に当たる1641人で、女性は8・9%の357人だった。

旭日大綬章はほかに愛知和男元防衛庁長官(72)、遠藤武彦元農相(71)、尾身善次元財務相(71)、笹川堯元科学

技術担当相(74)、関谷勝嗣元建設相(72)、鶴田厚彦元日本経済新聞社社長(82)、谷津義男元農相(75)、柳沢伯夫元厚生労働相(74)が受章した。旭日小綬章には脚本家の倉本聰(本名・山谷肇)さん(75)や劇作家のさいとうたかを(本名・斎藤隆夫)さん(73)を選んだ。

別件の外国人叙勲は62人が受章。旭日大綬章には米国のマニス・ハスタルト元邦下院議長(68)やタイのサノ・ウナクン元副首相(78)ら4人を選んだ。ドン・ウィルソンさん(77)ら米国の音楽グループザ・ベンチヤーズのメンバーのうち5人が旭日小綬章を受章した。

大綬章と重光章の受章者には5月7日に皇居で親授式、伝達式を行う。



**緑環状
環境美化奉仕団体
古川を受する会
(江戸川区)**

古川親水公園周辺の三江地区の10町会・自治会の約6,500世帯が会員となり、公園の美化活動に長年努めてきた。

5代目会長の須藤義隆さん(68)が、「子供の頃は水で遊ぶのが好きで、古川は生活排水が流入してやがて悪臭漂って来たら。」

初の親水公園 育む

理念立案計画もあったが、「川を綺麗に」という地区の要望を受け、1974年、水辺を憩いの場として整備する親水公園の企画第1号として誕生した。

その年に築ができて以来、夏休みの早朝、川の清掃活動を実施。各町会でパトロールも行う。今年で30周年となる。毎夏恒例の「古川まつり」では、金魚つりや放流や盆踊りも開催。須藤さんは「古川は住民の絆を深める大切な存在。愛護はみんなが川を守り育てる結果です」と誓う。

春の褒章 都内59人・2団体

春の褒章の受賞者が発表され、都内からは59人と2団体が選ばれた。人と団体に喜びの声を聞いた。

喜びの声

緑環状
金工作家
大角幸枝さん 64
(国分寺市)

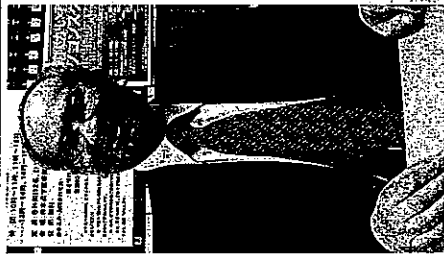
「好きを追求してきた」
と、褒章という形で認め

金属の輝き 追求



らねたのはうれい」と喜び、金や銀を使って花飾や装束を作る金工作家として活動する傍ら、東京家政大で金工の実技を教える。

東京家政大で美術史を専攻。工業を理解するとは技術の知識も必要と制作を始めた。金属の持つ独特の輝きを模られ、卒業後、区立純正工作家に師事し、本格的に金工に打ち込んだ。作品は、銀を使ったものの中



点字図書 電子化に尽力

**緑環状
社会福祉法人
日本点字図書館理事長
岩上義則さん 68
(中野区)**

国内最多の約4万6000人が利用する点字図書館で、点字図書や録音図書の電子化に取り組んだ。1冊の本をカセットテープ教材に記録していた録音図書もインターネットで図書を借りるもとなり、利用者はパソコンでダウンロードするなどして、いつでも好きな本を楽しめるようになった。

「視覚障害者の読書環境を良くするために全力投

褒章受賞者(敬称略) ※緑環状は2面に掲載

◇緑環状◇
緑環状(緑環状) 野村浩一(緑環状)
緑環状(緑環状) 野村浩一(緑環状)
◇緑環状◇
緑環状(緑環状) 野村浩一(緑環状)
緑環状(緑環状) 野村浩一(緑環状)

大橋秀子(新橋) 野村浩一(緑環状)
野村浩一(緑環状) 野村浩一(緑環状)
野村浩一(緑環状) 野村浩一(緑環状)
野村浩一(緑環状) 野村浩一(緑環状)

一枚の葉、ひたすら木
つちを金とてたき延
はしなり曲がりしている
と書き添える。「工業品
は、現代を生きている人々
に生まれなければなら
ない」との気持ちで、
「芸術性も備え、目撃
生産も利用しやすい作品
を作りたい」と金工に邁進し
てほしい」と懇々と語った。

球してきた。自分の使命
を忠実に果たしてきたこ
とを証言されたことと笑顔
を見せる。

5歳の時に脳腫瘍が原因
で視力を失った。本好き
で、当時の雑誌に挿し付け
たい、職員として就職。02
年から視覚を失った。
日本点字図書館は今年
70周年を迎えた。岩上さ
んは「来年3月までに録
音図書すべてを電子化する
のが目標」と意気を見せて
いる。

春の褒章677人20団体

都はるみさんら受章

政府は28日付で、春の褒章の受章者を発表した。受章するのは677人(うち女性153人)と20団体。29日に発令される。

スポーツ、芸術文化、学術文化を対象にした紫綬褒章は24人(同3人)が受章。芸術文化では、ヒット曲「北の宿から」「アンコ樺は恋の花」

で知られる歌手の都はるみ(本名・北村春美)さん(62)、映画監督の根岸吉太郎さん(59)、女形の歌舞伎俳優の中村時蔵(本名・小川光晴)さん(55)、昭和ノスタルジーをかきたてる漫画「三丁目の夕日」作者の漫画家の西岸良平さん(62)らが受章した。人命救助を対象にした紅綬

褒章は2人と2団体が受章。公共の利益に貢献した人に授与される藍綬褒章は430人(うち女性127人)、ボランティア活動に対する緑綬褒章は12人(同11人)と18団体に、長年一つの仕事に打ち込んだ人が対象の黄綬褒章は209人(同12人)に贈られる。

紫綬褒章受章者

(敬称略)
〈芸術文化〉木工芸作家須由賢司(55)▽金工作家大角幸

枝(64)▽歌舞伎俳優中村時蔵(本名小川光晴)(55)▽歌手都はるみ(本名北村春美)(62)▽漫画家西岸良平(62)▽映画監督根岸吉太郎(59)▽文芸評論家三浦雅士(63)

〈発明改良〉トブコン社長補佐技術開発グループ統括大友文夫(62)▽鉄道総合技術研究所研究開発推進室主任吉田一フリアー(若谷公稔)(50)▽早大教授逢坂哲弥(64)▽NTTコミュニケーションシジョン科学基礎研究所守谷特別研究室長守谷健弘(54)
〈東南アジア地域研究〉東

大教授末広昭(58)
〈開発経済学研究〉政策研究大学院大国際開発高等教育機構修士課程国際開発プログラムディレクター大塚啓一郎(61)

〈経済史研究〉一橋大名譽教授斎藤修(64)
〈糖尿病・代謝学研究〉東大教授門脇孝(57)
〈食品科学研究〉元東大教授阿部啓子(63)
〈生物系薬学研究〉東大教授杉山雄一(62)
〈物理学研究〉東大教授土井正男(62)

〈有機合成化学研究〉京大教授林民生(62)
〈分子生物学研究〉京大教授森和俊(51)
〈微生物工学研究〉京大名譽教授今中忠行(66)
〈光通信工学研究〉東北大教授中沢正隆(57)
〈知能情報学研究〉東大教授辻井潤一(61)
〈材料化学研究〉東工大教授岩本正和(61)
(年齢は発令される29日現在。氏名の表記は原則として朝日新聞社の用字としました)



紫綬褒章

やればやるほど新たな発見

歌舞伎俳優・中村時蔵さん(55)

1960年4月に初舞台を踏み、ちょうど50年を迎える節目の年。建て替えのために今月で閉場する東京・歌舞伎座の千秋楽の日、うれしい受章の発表となった。

「父を早くに亡くし、諸先輩方に芸を学んだ。章をいただいたことは、その恩返しかな。歌舞伎一筋に歩いてきたが、章を汚すことなく、これからも精進したい」
81年に五代目時蔵を襲名。

女形として数々の名舞台を残してきた。歌舞伎界では女形は60歳で一人前と言われる。長い時間をかけて少しずつ勉強してきた。歌右衛門さんには、障子からのぞくやり方から手足の動きまで、しぐさを教わるのが多かった。30歳過ぎて「それじゃ芝居がつまらない」と言われたことがあり、どうすれば面白くなるのか考えた時期もあります。

「妹背山婦女庭訓」のお三守っている。(小山内伸)



紫綬褒章

映画を読み取る力作る力に

映画監督・根岸吉太郎さん(59)

「遠雷」(1981年)など、数多くの名作を生みだしてきた。2005年に「雪に願うこと」で東京国際映画祭史上初の4冠を達成。昨年は太宰治の小説を原作にした「ヴィヨンの妻 桜桃とタンポポ」で、カナダのモントリオール世界映画祭の最優秀監督賞を受賞。充実した仕事ぶりを見せている。

映画監督という存在を強く意識したのは中学生のとき。

市川崑監督の「東京オリンピック」を見て、単なる記録映画ではないことに驚嘆した。早稲田大学で映画を勉強し卒業後に日活に入社。今では数少ない撮影所育ちだ。「日本映画の全盛期を築いた撮影所の香りがしたいなものが僕の映画に残っていて、ある種、日本映画の伝統を継承している点が評価されたのでしよう。」

「ヴィヨンの妻」が一段落したところで章をいただき、次代、戦後の話が続いたので、次回作は現代で(小林裕子)

政府が28日発表した春の褒章で、都内からは、紫綬褒章に12人、緑綬褒章に2団体、黄綬褒章に12人、藍綬褒章に35人が選ばれた。公共の利益に尽くした人に贈られる藍綬褒章を受章した牛込消防団副団長、木本幸雄さん(63)に喜びの声を聞いた。

春の褒章 都内から2団体59人

藍綬褒章・木本幸雄さん(63) 地道な活動で火災減少

細い路地に木造家屋が密集する。神楽坂に代表される昭和初期の面影を残す新宿区・牛込地域で、代々続く板金会社を営む傍ら、約45年にわたり消防団活動に携わってきた。

近年は再開発が進み、約5年前には木造平屋だった自宅も高層マンションに変わった。しかし「火事はどこだ、牛込だ」という言葉が残るほどの火災多発地域で活動を続けてきただけに、思い出は数知れない。

3年前に赤城元町で起きた火災では、1人暮らし高齢男性が犠牲になった。遺体を毛布にくるみ、警察の車まで運ぶことを団員に指揮しながら、男性の無念な最期を思った。

3月に戸山で起きた大規模マンション火災では、約80世帯のマンション住民を

近くの町会集会所に避難誘導した。「あのおばあちゃんがいけない」。住民からの不安の声を聞き、マンションの部屋を一軒一軒訪ね歩いては、都会でも人と人がつながっていることを感じた。

一方、消防団活動は24時間体制。仕事やプライベートをなげうつこともしばしばだった。日々の努力が実り、東京消防庁牛込消防署管内の火事は減少。平成21年度には年間の総消失面積が約30平方メートルという、昭和22年の牛込消防団結成以来の「好成績」を達成した。

藍綬褒章受章も続き「家族

や会社の従業員のおかげ」と、はにかむ。

消防団を目指したのは、やはり牛込消防団の団長を務めた父の故・義正さんの影響だった。昭和33年、東海や関東地域で多くの人命を奪った狩野川台風の際、

人命救助に走り回った父の姿にあこがれた。

父の背中を追って消防団をめざした少年は、63歳。現場に赴く傍ら、地元企業を回って入団希望者を募り、後輩育成にも力を注いでいる。(清水麻子)

